



# ハマナスこぼなしシリーズ

2022～2024年版



## ハマナスは「北海道の花」

0. ハマナスは「北海道の花」
  1. ハマナスの国内分布
  2. ハマナスは園芸バラの原種のひとつ
  3. 砂の中に茎を伸ばして広がるハマナス
  4. ハマナスの花のいのちは一日
  5. 実にならない花たち
  6. ハマナスはトゲだらけ？！
  7. ハマナスの赤い実は「偽果」<sup>ぎ か</sup>
  8. ハマナスの葉は、しわだらけ？
  9. ハマナスの樹高
  10. 埋まった偽果からの発芽
  11. 花の香り～時間とともに変化～
  12. ハマナスの利用①
  13. ハマナスの利用②
  14. ハマナスの開花日と積算温度
  15. ハマナスのなかま
  16. ハマナスの実はローズヒップ
  17. ハマナスの実の食べあと
  18. ハマナス再生園
  19. ハマナスを育て管理する

ハマナスはバラ科バラ属の落葉低木です。

アジア北東部の海岸に分布し、日本では北海道、本州の太平洋側では北関東以北、日本海側では中国地方以北で見られ、北日本の海岸植物の代表種です。1978年(昭和53年)、「北海道の花」に指定。指定に際し、「純朴、野生的で力強い」「花の色が鮮明で、葉も美しい」「生命力が強く育てやすい」などの意見が寄せられたそうです。



ハマナスの花：石狩浜では6月が開花のピークだが、5月末から10月まで見られる。



ハマナスの実：石狩浜では7月半ばから色づきはじめ、落下はせず、晩秋まで見ることができる。

<参考資料・URL>

奥多重俊編著1997. 日本野生植物館, 小学館, 東京, p.212.

北海道, 「北海道の概要」. <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/overview/symbol.html> (参照2021.7.26.)

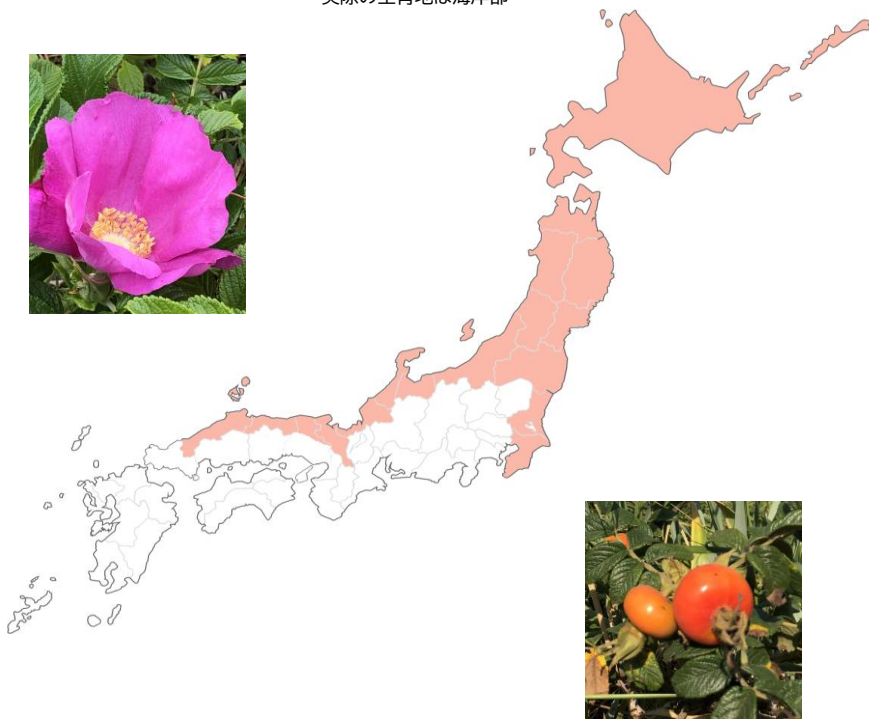


## ハマナスの国内分布

ハマナスは、国内では北海道から日本海側は中国地方まで、太平洋側では関東地方まで自生が見られます。

茨城県鹿嶋市、鳥取県鳥取市に生育するハマナスは自生南限として国の天然記念物に指定。島根県大田市に生育するハマナスは自生西限地として県の文化財に指定。千葉県九十九里町でも自生のハマナスがみられるそうです。

ハマナスが自生する都道府県  
\*都道府県単位で着色しているため、内陸部にも着色されているが  
実際の生育地は海岸部



### <参考資料・URL>

奥多重俊編著1997.日本野生植物館,小学館,東京,p.212.

鳥取県,「とっとり文化財ナビ・ハマナス自生南限地帯」.[http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/bunkazai\\_web\\_view/9D725002213FD81549257BF70024D80D?OpenDocument](http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/bunkazai_web_view/9D725002213FD81549257BF70024D80D?OpenDocument) (参照2021.7.26.)

鹿嶋市「鹿嶋デジタル博物館・ハマナス自生南限地帯」.<https://city.kashima.ibaraki.jp/site/bunkazai/50147.html> (参照2021.7.26.)

島根県,「近藤ヶ浜ハマナス自生地」.<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/nature/shizen/shimane/minnademamoru/hamanasu.html> (参照2021.7.26.)

九十九里町,「ハマナシ群生地」<https://www.town.kujukuri.chiba.jp/0000000343.html> (参照2021.7.26.)

## ハマナスは園芸バラの原種のひとつ

ハマナスは、バラ科バラ属の落葉低木で、園芸用に栽培されるバラの原種のひとつです。ハマナスを基にしたバラの品種群は、耐寒性が強い、繰り返し咲く、大輪で香りもよいなどの性質をもちます。外見ではハマナスの特徴が見られないような品種もあります。ハマナスは園芸バラの育種において、利用価値が高いとされています。

ハマナスとの交配から生まれた様々な品種



撮影地:百合が原公園

### <参考資料>

石渡杏奈 監修工藤敏博2016.北海道で育てるバラ,北海道新聞社,pp26-41.

大場秀章1997.バラの誕生,中央公論新社,東京.

滝谷美香 今博計2002.ハマナスを種としたバラ属9種の相互交雑によるF1の育成と特性,北海道立林業試験場報告39.

## 砂の中に 茎をのびして広がる ハマナス

ハマナスは、海岸の砂地に生育・群生し、根茎が砂の中に深く長く伸びています。

飛砂が多い場所では、砂に埋まっても、若い枝から不定根が発生し、砂の上に再び枝を伸ばし、株立ちしていきます。

地下茎が地中を長く伸びていく性質もあります。地下茎を伸ばし、もともとあった株から離れた場所に新しい枝を伸ばしていきます。

ですので、ハマナスの自生地では、その株数を数えることは困難なのです。



飛砂のある砂地に群生するハマナス。



砂の中を長く走る地下茎とそこからの発芽。

### <参考資料>

沼田誠監修 浅野貞夫・桑原義晴編著1990.日本山野草・樹木生態図鑑,全国農村教育協会,東京,p.418.  
斎藤新一郎1984.小清水原生花園における砂丘植生について,知床博物館研究報告6,pp67-87.

## ハマナスの花のいのちは一日

6月に石狩浜の砂丘を彩るハマナス。ひとつひとつの花をよく見ると、花の中心部が鮮やかな黄色のものと、黒っぽいものとが混じります。

中心部が黄色い花は、その日の朝に開いた花です。花びらの色が濃く、香りも豊かです。

中心部が黒っぽい花は、前日に開いたもので、香りもあまりせず、中心部のおしべの花粉もなくなっています。

天候にもよりますが、朝に開いた花は、昆虫を集めて花粉の受け渡しを行い、その日のうちに花としての働きを終えます。



明朝開くつぼみ。



花粉がある朝の花。



花粉がほとんどない、昼頃の花。



前日に開いた花。

### <参考資料>

河野昭一監修,田中肇編集1991.フィールドウォッチング4夏の野山を歩く,北隆館,東京,pp.6-9.

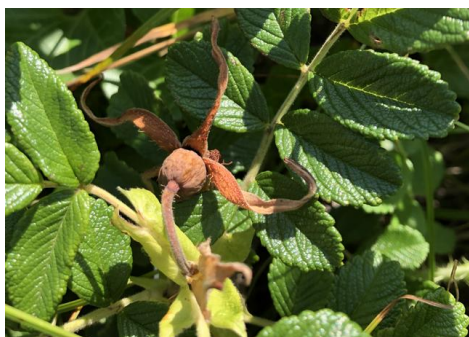


## 実にならない花たち

ハマナスは、咲いた花のすべてが実になるわけではありません。ハマナス再生園で行った調査では、6月の晴れた日に咲いた花の約50%が実になることがわかりました。では、残りの実にならない花はどうなるのでしょうか？

花が散って1か月程度経った頃、花が咲いていた枝をいくつか見てみると、花の基部(がく筒<sup>とう</sup>)が小さいまま褐変したものと、緑色にふくらんでいるものとが見られます。

ハマナスの花が実になるためには、昆虫による「受粉」が必要です。前者は、うまく受粉をできなかった花のなごりと考えられ、やがて落下してしまいます。



開花から約一か月後、結実できなかった花のなごり。

花を訪れるエゾオオマルハナバチ。  
結実のための受粉には昆虫のはたらきが必要。



受粉が成功して結実に向かう花の基部(がく筒)。

やがて色づき偽果となる。

### <参考資料>

石狩浜海浜植物保護センター未発表データ  
北海道環境科学研究センターほか2006.北海道海浜保全再生マニュアル.北海道環境科学研究センター

## ハマナスはトゲだらけ？！

ハマナスはバラ科バラ属に属し、トゲのある枝が特長のひとつです。

春から伸び始めたハマナスの若い枝も、緑色のトゲで覆われています。よく見ると、葉の軸にもトゲがあり、葉の裏面には、短い軟毛がついています。細かい毛やトゲは塩の付着を妨げる仕掛け、とも言われています。

ところが、年を重ねた枝や幹のトゲはまばらになり、トゲがない幹も時折見られます。



若い枝のトゲ。



葉軸のトゲと葉の裏の毛。



2年目の枝。



年を重ねた枝。

### <参考資料>

辻井達一2006.続・日本の樹木,中央公論新社,東京.p.82-85.



## ハマナスの赤い実は「偽果」<sup>ぎ か</sup>

秋になると石狩浜の砂丘を点々と彩る赤いハマナスの実。これは、花のつけねにあった、「がく筒」という部分がふくらんだもので、中に「瘦果」<sup>そう か</sup>が複数入っています。「瘦果」は、種子のようにみえますが、種子はその中に一つ、入っています。肥大した「がく筒」と中の複数の「瘦果」を合わせて、「偽果」<sup>ぎ か</sup>と言います。私たちが食べている果物にも、「偽果」に分類されるものがあります。イチゴ、リンゴはその代表です。

ハマナスの「偽果」は、生でも食べられますが、中の瘦果が厄介。手間はかかりますが、瘦果を取り出し、ジャムにするとよいでしょう。



つぼみの時にも確認できる「がく筒」。↑



↑開花時は花卉の下で目立たない。



←がく筒は、開花から約2カ月かけて肥大し偽果となる。

偽果の中には数十個から時に百個以上の瘦果が入る。→



### <参考資料>

清水建美2001.図説植物用語辞典,八坂書房,東京,pp25-118.  
大場秀章1997.バラの誕生,中央公論新社,東京,pp41-54.  
辻井達一2006.続・日本の樹木,中央公論新社,東京,pp821-85.

## ハマナスの葉は、しわだらけ？

ハマナスの学名は「*Rosa rugosa*」。「rugosa」は、ラテン語で「しわがある」という意味があるそうです。葉の表側を見てみると、たしかに、光沢のある分厚い葉の葉脈<sup>ようみゃく</sup>の部分がへこみ、深い「しわ」のようになっています。

一方で、葉の裏側には、軟毛が密生。楕円形の「小葉」が並ぶ葉軸<sup>ようじく</sup>には、鋭いトゲが！「しわ」が刻まれる葉の「分厚さ」も、密生する「毛」も、「トゲ」も、飛んでくる砂や塩分で体が傷まないようにするため、海辺で育つための仕掛け。まるで武装しているようです。



←葉の表面は「しわ」だらけ。

↓葉の裏面は「軟毛」だらけ。



↑裏面葉軸上の鋭い「トゲ」。



↑実と花と葉。

←小葉が7～9枚セットで一枚の葉。羽状複葉というタイプ。

### <参考資料>

御巫由紀2019.野ばらハンドブック,文一総合出版,東京,pp84-89.  
辻井達一2006.続・日本の樹木,中央公論新社,東京,pp821-85.

## ハマナスの樹高

ハマナスは、海岸の砂地に育つ小低木です。多くの図鑑では、樹高は概ね50～150cm、と記載されていますが、石狩浜で実際に測ると、海に比較的近い場所では15cmほど、海からやや離れた原生花園の景観を呈する草原の中では30～60cm、ススキやツルウメモドキと混生する草原の中では60～70cmほどです。1mを超えるものには、石狩浜の自生地では出会うことができませんでした。全体的に低めなのは、日本海からの風の影響が大きいと考えられます。柔軟に樹高を変えることで、変化に富んだ海辺の環境に適応しているようです。



←樹高15cmのハマナス。  
テンキグサ、  
コウボウムギと混生。



←樹高35cmのハマナス。  
エゾカワラナデシコ、  
エゾカノワラマツバ、  
カセンソウ、  
エゾスカシユリなどが混生。



←樹高70cmのハマナス。  
ススキ、  
ツルウメモドキ  
エゾカワラナデシコ、  
ノコギリソウなどが混生。

### <参考資料>

辻井達一ほか1,992.北海道の樹,北海道大学図書刊行会,札幌,p290.

佐藤孝夫1990.北海道樹木図鑑,亜細亜社,札幌,p156.

沼田真(監修)1990.日本山野草・樹木生態図鑑,全国農村教育協会,東京,p418.

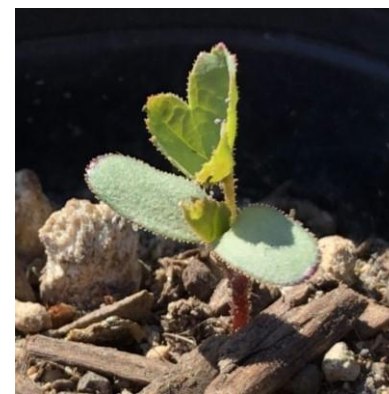
## 埋まった<sup>ぎか</sup>偽果からの発芽

秋に丸ごと落下したハマナスの<sup>ぎか</sup>偽果※が砂に埋まると、翌春、中に入っている10～100個ほどの種子が<sup>みしよう</sup>一斉に発芽し、実生※が密集して生えてきます。まるで野菜のスプラウトのよう。

早春は、砂丘を吹き抜ける風からお互い助け合っているようにも見えますが、まだ根の浅い実生が夏の日照りにさらされると、お互い水分を巡る過酷な競争下に置かれることとなり、ほとんど、もしくは全てが枯死してしまいます。



←砂に埋まった偽果からの発芽。  
自然条件下では、生き残る実生は  
わずか、もしくは、すべて枯死す  
る。お互いに寄り添って早春の冷  
たい風から身を守っているようだ  
が、気温の上昇とともに、水分を  
巡る激しい競争下に置かれる。



←偽果の中から取り出した1つの  
種子を含む瘦果 からの発芽。  
栽培条件下であれば、比較的よく  
育つ。

※偽果とは、花の子房以外の部分が肥大したもので、中に子房由来の果実を含む。ハマナスの場合は、花の付け根の「がく筒」が肥大したものが偽果。中に瘦果(そうか)を含み、瘦果の中に種子が1つ入る。

※※実生とは、タネから発芽したての状態。子葉などがある状態の植物のこと。



## 花の香り～時間とともに変化～

石狩浜のハマナスの香りを分析した研究結果によると、フェニルエチルアルコール、シトロネロール、ゲラニオール、ネロールの4成分が8割以上を占めており、バラらしい香りであることが確認されました。これらの成分には、沈んだ気分を明るくしたり、イライラをしずめたりする作用があります。

香りに含まれるこれらの成分の比率は時間とともに変化し、「4-5時の開花前は『爽やかでややつんとするグリーンシトラス調』、6-8時の開花開始期は『爽やかさとスパイシー感のあるローズ調』、9-10時の開花前期は『華やかでややらかいローズ調』、11-13時の開花後期は『ハニー様の甘さのあるローズ調』でした。」、さらに、「香気成分の総量は9-10時にかけて、最も多くなる」と報告されています。



朝  
開花初期は「爽やかな  
香りの成分が多い。」



午前  
「香気成分の総量は、調  
査を行った6月の晴天  
時、9～10時に最も多  
くなる。」



午後  
開花後期は「甘い香り  
の成分が多い。」

<参考資料>

外間貴美2023.ヘッドスペース分析法を用いたハマナスの香気成分の分析. aromatopia,174,pp54-57.

## ハマナスの利用①

ハマナスはバラ科の植物です。ハマナスの花の香りに含まれるフェニルエチルアルコール、シトロネロール、ゲラニオールなどの成分は、沈んだ気持ちを明るくしたり、イライラをしずめるなどの作用があります。この作用から、香料として香水や化粧品に用いられた歴史もあります。また、果実はビタミンCが豊富で、抗酸化作用や整腸作用、疲労回復などが期待できるとされ、アイヌの人たちは生食や乾燥保存して利用していたそうです。現在も、花びらや実は乾燥してお茶やお菓子に用いたり、美容のためのローションやクリームなどの原料に用いられています。



花は花弁を利用。



偽果、生食も可。



©石狩浜ハマナス再生プロジェクト協議会  
ハマナス再生園のハマナス  
を利用して作られた商品。



花弁は蒸留や乾燥後、化粧品や食品などに利用されている。香水の原料としての採取は、かなりの量が必要となるため、現在は行われていない。



偽果の中身を取り出した後、乾燥させて利用。刻んで煮詰めてジャムにも。

<参考資料>

石狩浜ハマナス再生プロジェクト協議会2021.ハマナスを知ろう,どんな花?どんな植物?. マウちゃんの石狩浜さんぽ,pp15-16.

伊藤由起子2021. 香りの歴史を刻む海辺に花摘みびと、ふたたび. マウちゃんの石狩浜さんぽ,pp19-20.



## ハマナスの利用②

ハマナスの花びらが、香水の原料になるとして、北海道各地で摘まれていた時代があります。昭和22年、札幌市西区琴似にできた曾田香料株式会社の工場には、石狩や厚田、遠く網走や北見の各地からハマナスの花が集められたそうです。花は、揮発性の溶剤ノルマルヘキサンに漬け込まれ、ドラム缶に納められて工場へ運ばれたそうです。

石狩浜では、一日一人当たり平均3.75kgを摘み、年間で500kg以上が曾田香料に引き取られた年もありました。およそ20年間、石狩浜でのハマナスの花摘みは続きましたが、安価な合成香料の普及や、浜に咲くハマナスを町のシンボルにするため、町が密生地帯での花摘みを禁止したことなどから、その光景は見られなくなりました。

花摘みの光景が見られた当時のハマナス密生地を想像させる、近年撮影されたハマナスの群生



2023年5月31日撮影。  
撮影場所：はまなすの丘公園内。



2000年撮影。  
撮影場所：はまなすの丘公園内。  
所蔵：石狩浜海浜植物保護センター。



2014年撮影。  
撮影場所：はまなすの丘公園内。  
所蔵：石狩浜海浜植物保護センター。



2014年6月撮影。  
撮影場所：ハマナス再生園。

### <参考資料>

鈴木トミエ編1996. 香水屋さんが行く。石狩百話第62話, pp367-371.  
伊藤由起子2023. ハマナスの香料史. aromatopia, 174, pp58-60.

## ハマナスの開花日と積算温度

桜の開花日予想などに用いられる積算温度。

ハマナスの開花日にも用いてみました。

①生育に必要な気温を5℃以上とし、【日平均気温－5℃＝有効温度】とする。

②最寄り地点のアメダスのデータなどを参考に、有効温度を足していく。

そうすると、石狩浜では有効温度の積算値が210℃を超えると早咲きの花が見られはじめます。280℃になるとあちこちで開花が始まり、400℃を超える頃には開花最盛期を迎えます。400℃に達したのは2023年は6/10、2000年は6/17でした。ハマナスの開花は早まっていると言えそうです。



咲き始めのハマナス①  
砂地に這うハマナスは、砂の温かさからか、早咲きの花がよく見られる。  
2024.5.16撮影。



咲き始めのハマナス②  
数少ない花をめがけて虫が集中するためあまりきれいではない。  
2022.5.22撮影。

### <参考資料>

石狩浜海浜植物保護センター, 2014, 今年のハマナスはいつ咲くの?, はまぼうふうvo.47, 石狩市。

気象庁ホームページ, [https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php?prec\\_no=14&block\\_no=1085&year=2023&month=06&day=&view=p1](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php?prec_no=14&block_no=1085&year=2023&month=06&day=&view=p1)  
(2024-5-17閲覧)

## ハマナスのなかま

ハマナスは、日本に12種生育する野ばら(バラ科バラ属に分類される野生種)のひとつです。

野ばらは、地球上におよそ150~200種あると言われていますが分布するのは北半球だけで、温帯域が中心です。

ハマナスは、日本の中では島根県以北、千葉県以北に分布し、日本以外では中国北東部、朝鮮半島、極東ロシアの海岸に分布します。

北海道に自生するハマナス以外の野ばらでは、

- ・ノイバラ
- ・カラフトイバラ(ヤマハマナス・カラフトバラ)
- ・オオタカネバラ(オオタカネイバラ)

があります。オオタカネバラは、北米、北欧、ロシアなど高緯度地方に広く分布し、北海道では標高の高い場所や北地で見られます。カラフトイバラは道東に多いそうです。ノイバラは、北海道では南西部に分布し、石狩市内の内陸部でも見ることができます。



オオタカネバラ,花.  
撮影地:鹿追町.  
撮影日:2024.7.1 .



オオタカネバラ,果実.  
撮影地:上土幌町.  
撮影日:2022.7.31 .



ノイバラ,花.  
撮影地:石狩市高岡.  
撮影日:2024.6.26 .

### <参考資料>

御巫由紀2019.野ばらハンドブック,文一総合出版,東京.  
佐藤孝夫2017.樹木区図鑑,垂瑠西社,pp186-188.

## ハマナスの実はローズヒップ

ハマナスはバラ科バラ属に分類される野生のバラです。ハマナスと同じ仲間であるヨーロッパに広く分布するイヌバラ(ドッグローズ)の実には、豊富なビタミンC、ビタミンAが含まれ、シロップなどに利用されてきたそうです。もともとは、このイヌバラの実を「ローズヒップ」と呼びます。

ハマナスの実も、古くから生食や煮るなど利用され、近年の研究から、豊富なビタミンCが含まれることがわかっています。

今ではバラ科バラ属の実を広く「ローズヒップ」と呼んでいます。ハマナスの実も、果肉部分を乾燥させて茶葉とし、ハーブティーすなわちローズヒップティーとして楽しむことができます。



ローズヒップは植物用語では「偽果」と呼びます。中に雌しべの<sup>しぼ</sup>子房が成熟してできた固い<sup>しんか</sup>「真果」が、数十個入っています。  
偽果の果肉部分が厚く、ここを食用します。



ハマナスの実はいわゆる球形でトゲのない実が図鑑に掲載されますが、石狩浜には細長いものやトゲのあるものもあり、多様です。

### <参考資料・URL>

大場秀章1997.バラの誕生,中公新書,東京.  
アイヌ民族博物館「アイヌと自然デジタル図鑑:ハマナス」[https://ainugo.nam.go.jp/siror/book/detail\\_sp.php?page=book&book\\_id=P0211](https://ainugo.nam.go.jp/siror/book/detail_sp.php?page=book&book_id=P0211) (参照2024.9.10)  
小林義典2023.ハマナス・玫瑰のハーブとしての安全性. aromatopia,174,pp64-68.



## ハマナスの実の食べあと

ハマナスの赤い果実(植物用語では「偽果」)は、人間も食利用してきた栄養豊富な自然の恵み。

野生動物にとっても大切な食物であることは想像できます。秋にはハマナスの果実を食べた後のタネがたくさん混じったキタキツネの糞も時折落ちています。果肉をついばまれた果実も見かけます。野鳥でしょうか。

人間は食べない偽果の中のタネ(植物用語では「真果」)を好む野生生物もいるようです。固い殻を割って中の種子を食べることはできるのは、鋭い歯を持つノネズミ？

ハマナスがつなぐ野生動物の命の営みを、実の食べあとから垣間見ることができる石狩浜の秋です。



ついばまれた偽果の果肉。



中身がくりぬかれた偽果。



かじられた偽果。



地面に落ちた偽果からこぼれたタネ(真果)。



殻を割られて中身を食べられたタネ。

## ハマナス再生園

近年、石狩浜では内陸性植物や外来植物の増加によって、かつて広く見られたハマナスの彩る風景は失われつつあります。その保全と再生を目指し、ハマナス群落の再現と、持続可能なハマナスの利用によって普及啓発を進める「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」の拠点が、ハマナス再生園です。

2013年、ハマナス群落の衰退が進んだ海浜地、約7,000㎡の表土と植生を取り除いた後、自然増殖と苗の移植によってハマナスを増やしていきました。2020年には全体の8割にハマナスが育つようになり、2021年からはハマナス群落の維持を目指し、植生管理を進めています。

ハマナス群落が再現されたことで、かつて石狩浜で行われていたハマナスの花摘みも可能になり、イベントや体験学習、ハマナスを使った商品づくりなどでの活用も進んでいます。



ハマナス再生園のシンボル看板。



市民参加の植生管理「ハマナスHealthyタイム」。



花摘み体験。



ハマナス再生園のハマナスから作られた商品の販売。

## ハマナスを育て管理する

ハマナス再生園の維持管理には、おもに3つの作業があります。

- ①秋に種子を自生株から採種し、苗をおよそ2年かけて育て、園内へ移植する。
- ②ハマナスの生育を妨げる外来植物や内陸性植物を除去する。
- ③樹勢が衰えたハマナスを更新させるために、ハマナスの枝の剪定や刈払いをする。

これらの作業を持続的に行うために、次のことを大切にしています。

- ①多様な主体の参加で行う。
- ②ハマナスのみならず、管理作業で発生した植物も遊び、学び、くらしの中で利用する。

ハマナス再生園で蓄積された手法は、石狩浜の景観や植生の保全、再生にかしていくことができるでしょう。

ハマナス再生園に移植する苗の育て方



## おわりに

ハマナスこぼなしシリーズは、ハマナス再生園の維持管理作業「ハマナスHealthyタイム」の際に、季節の話題として参加者にお話し、記念にカードとしてお渡ししていたものです。3年分が蓄積されましたので、より多くの方にハマナスを知ってもらい、親しみをもっていただければと、冊子にまとめました。

ハマナスをきっかけに、自然ゆたかな石狩浜の保全、再生へ多くの目が向いていただければと思います。

石狩浜ハマナス再生プロジェクトホームページ



石狩浜海浜植物保護センターホームページ



石狩浜海浜植物保護センター情報



発行 2025年3月  
石狩浜海浜植物保護センター

作成 合同会社いしかり植物ラボ  
Email. syokubutu.labo@gmail.com

